

子育て世代等広報対象先の裾野拡大

- ◆ 子育て世代等広報対象先の裾野拡大に向け、幹部職員から中堅・若手職員までの「オール北海道財務局」で、いままで接点のない先へ従来の発想にとられないアプローチを実施。
- ◆ 幹部職員による首長等への提案によりマタニティ教室や保育士向け勉強会での広報が実現したほか、子育て支援NPO法人メーリングリストによる子育て世代への呼びかけ、地方公共団体子育て支援関連課へのプレゼンテーション、公立小学校の校長先生へのアプローチなどを実施、講座開催に向け協議中。
- ◆ 各種アプローチにより関係を構築した先へ、それぞれのニーズに応じた丁寧な広報を実施していく。

1. 成果事例の概要等

子育て世代等広報対象先の裾野拡大に向け幹部職員から中堅・若手職員まで「オール北海道財務局」でいままで接点のない先へ従来の発想にとられないアプローチを実施。

【幹部職員によるアプローチ】

- 地方公共団体首長等への提案

【中堅・若手職員によるアプローチ】

- メールによるNPO法人への一斉呼びかけ
 - 地方公共団体子育て支援関連課へのプレゼンテーション
 - 公立小学校へのアプローチ
- 中堅・若手プロジェクトチーム「ツナガリPT」を中心に実施。

プロジェクトチーム「ツナガリPT」とは

中堅・若手職員が自発的・継続的に地域連携推進を図るプロジェクトチーム。

正式名称
「地域との繋がり発掘プロジェクトチーム」

2. これまでの取組の成果等

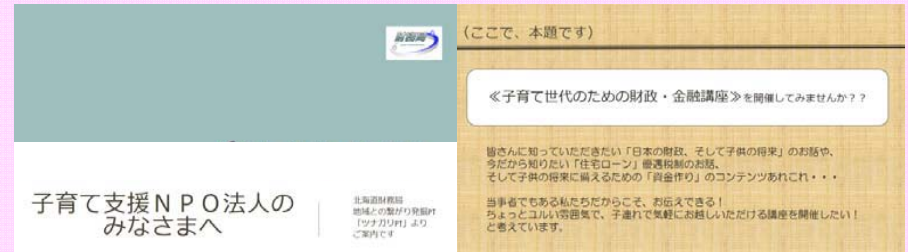
- 地方公共団体首長等へ提案

地方創生ヒアリング等、当局幹部職員が地方公共団体首長・幹部職員と接触する機会を最大限活用し、子育て世代等に向けた広報実施を積極的に提案。その結果、釧路市主催のマタニティ教室（妊婦向け勉強会）や、旭川市主催の保育士向け勉強会などでの広報活動実施につながった。

- メールによるNPO法人への一斉呼びかけ

平成28年4・5月に財政と金融の車座勉強会を実施した子育て支援NPO法人のメーリングリスト(北海道内の子育て支援NPO法人向け)を介して、ツナガリPTが作成した「ご案内文書(子育て支援NPO法人宛)」を一斉送付。

29年3月末時点で、子育て支援NPOの2法人から「メーリングリストで呼びかけられた子育て世代のための財政・金融講座を実施したい」との連絡あり。



車座勉強会の際、子育て支援NPO法人代表者の方から「車座勉強会開催を今後呼びかけるのであれば、私からメーリングリストで北海道内の子育て支援NPO法人宛で一斉送付しても良い」と提案頂き、実現したものの。

3. 今後の課題と北海道財務局等の対応

＜今後の課題＞

- アプローチ先と親密な関係を構築するには相手のニーズを第一に地道かつ戦略的な接触が必要。
- 各種アプローチにより関係を構築した先それぞれのニーズに沿った効果的な広報の実施。

＜北海道財務局の今後の対応＞

- 中堅・若手職員や子育て世代の職員を講師とするなど、広報対象先のニーズに応じた丁寧に対応。
- 新たなアプローチ先について、これまでの発想にとられないように、今後も開拓していく。

- 地方公共団体子育て支援関連課へのプレゼンテーション

地方創生ヒアリングに28年4・5月実施の車座勉強会を経験した中堅・若手職員が同行し、ツナガリPTが作成した「お願い文書(地方公共団体宛)」を用いて、子育て世代に向けた広報について、車座勉強会の反応等も交えながら地方公共団体子育て支援関連課へプレゼンテーションを実施。

江別市と北広島市の子育て支援センターより「平成29年度に子育て世代のための財政・金融講座を実施したい」旨、連絡あり。



- 公立小学校へのアプローチ

中堅・若手職員が札幌市の公立小学校を訪問、当局職員と個人的な繋がりを持つ同校の校長に対し、当局の子育て世代に向けた広報についてプレゼンテーションを実施。

同校長より、財務局広報の実施方法として、児童への授業に加え、保護者へ向けたPTA自主勉強会での講演や、教員に向けた経済動向勉強会等の提案がなされた。

